

代表が交代します！

この4月1日より、保育園を考える親の会の代表は、普光院亜紀から渡邊寛子に交代し、よりいっそう子育て現役世代の声を活かす活動をめざしていくこととなりました。

普光院は、引き続き会のアドバイザー・顧問として、代表を支え、会の業務に従事いたします。

今後とも保育園を考える親の会の活動にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新代表就任のあいさつ

代表となりました渡邊寛子です。普光院さんが長年支えていらしたこの会を引き継ぐこと、私で大丈夫だろうかという不安はありません。子どもたちは保育園を卒園し、現在、小中学生3人の子育て中です。保育関連の制度に詳しいわけではなく、私の出来ないところは引き続きアドバイザーの普光院さん、そしてスタッフや会員の皆様に甘えさせていただきながら、働く親のリアルな声を届ける！をモットーに活動して参りたいと思います。

引き続きのご支援を賜れますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

(新代表 渡邊 寛子)

保育園を考える親の会の URL・アカウント

●ホームページ

<http://hoikuoyanokai.com/>

●フェイスブック公式アカウント

@hoikuenoyanokai

●ツイッター公式アカウント

@hoik_oyanokai



アドバイザー就任のあいさつ

1993年に保育園を考える親の会代表に就任して以来、29年間にわたり、会の活動を主宰してまいりました。この間、家族の形は大きく変化し、働く親たちはさまざまな問題に直面しながら、子育てと仕事を両立する暮らし方を切り開いていかなければなりません。たくさんの方々と共感し、怒ったり嘆いたり喜んだりしながら、会の活動を続けられたことに、今改めて感謝申し上げます。

今後は、これまでの経験を活かすアドバイザー・顧問として、保育園を考える親の会の活動を支えていく所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

(アドバイザー・顧問 普光院 亜紀)

目次 会計報告 …2

「100都市保育力充実度チェック」事業収支 …3

活動報告 …3-4

相談対応のご報告 …4

2021年の
親の会活動



令和3年度 会計報告

自. 令和3年1月1日 至. 令和3年12月31日

保育園を考える親の会

収入の部

(単位:円)

科目	摘要	決算金額	
前年度繰越金		1,605,597	
カンパ	会員内外からのカンパ	275,000	(注1)
原稿料(「ことば」連載原稿料)	会員による全私保連「ことば」連載原稿のカンパ	21,000	(注2)
共催等の講師謝礼	ゆったりーの共催、井荻地域区民センター協議会	25,000	
出版物等の使用料	出版物やホームページコンテンツから生じた印税や使用料	40,535	(注3)
当期収入合計		(361,535)	
収入合計		1,967,132	

支出の部

(単位:円)

科目	摘要	決算金額	
つうしん通信費	年報つうしん	45,672	
つうしん印刷費	年報つうしん	9,200	
その他通信費		370	
その他印刷関連費	チラシなど	3,960	
ホームページ・メーリングリスト費用	サーバ等利用料	49,233	
充実度チェック調査費	「充実度チェック」調査通信費	14,000	(注4)
消耗品費		26,272	
賃借料	事務所年間使用料	43,200	(注5)
雑費	弔電 等	1,507	
当期支出合計		(193,414)	
次年度繰越金		1,773,718	
支出合計		1,967,132	

次年度繰越金内訳

現金	116,359	
振替貯金	1,780,252	
未払金	△122,893	(注6)
合計	1,773,718	

(注1) 2019年度より年会費を廃止し、会員内外からのカンパを主たる収入源とする活動に変更しました。

(注2) 全国私立保育連盟機関紙に会員が連載している「ことば」の原稿料をカンパしていただきました。

(注3) 「小1のカベに勝つ」印税、同書本文の模試出題の原稿使用料、代表著書印税からの原稿使用料が入りました。

(注4) 「100都市保育力充実度チェック」の調査費用(通信費)を負担しました。制作・頒布の事業は代表の個人事業で行い収支を別会計としました。(3ページ参照)。

(注5) 代表・普光院の個人事務所を部分使用しています。

(注6) 年度内に精算できなかった立替払いを未払金として計上しました。

以上の会計報告を監査し、間違いのないことを確認しました。

会計監査 野村史子

【本年度会計報告について】

保育園を考える親の会は、ボランティアスタッフによって運営されているため人件費はありません。

2021年度の収入は、カンパ〔総額296,000円(振込275,000円、「ことば」の原稿料21,000円)〕と臨時収入〔総額77,000円(共催等の講師謝礼、出版物の印税や原稿使用料など)〕に支えられました。一方、一昨年に続きコロナ禍のためオンラインでの活動が中心になり、会場費や保育料などの支出が抑えられた結果、繰越金が増えました。

カンパをお寄せくださったみなさま、ありがとうございました。ご厚意に心より感謝申し上げます。働く親と子どもを支える会の活動のために、有効に活用させていただきます。

「100 都市保育力充実度チェック」

事業収支



保育園を考える親の会は、毎年 100 の市区の保育状況について調査し、結果を「100 都市保育力充実度チェック」として発表しています。その冊子発行および頒布の事業を、代表・普光院の個人事業の中で行いましたので、次のとおり収支をご報告します。

2022 年度の収支は約 5 万円弱の赤字となりましたが、繰越金により補填できました。資金不足になっても発行を継続できるように、繰越金を多めに残しています。データ利用者協力費をいただいた日経クロスウーマン様、東洋経済新報社様に感謝申し上げます。

令和3年度 充実度事業収支報告

自. 令和3年1月1日 至. 令和3年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	決算金額
前年度繰越金	469,822
事業収益	(279,223)
冊子売上 (送料込み)	229,223
データ利用者協力費	50,000
当期収入合計	(279,223)
収入合計	749,045

支出の部

(単位:円)

科目	決算金額
事業費	(325,965)
冊子印刷・製本費	164,650
付録その他印刷代	5,910
調査員謝礼	56,374
広告宣伝費	0
冊子送料	50,239
販売委託費	18,176
販売促進スタッフ謝礼	30,616
当期支出合計	(325,965)
次年度繰越金	423,080
支出合計	749,045

2021 年 活動報告

1月20日(水) 2020年12月1日発表の「子育て安心プラン」に保育士の全面パート化を容認して保育士確保を図るプランが含まれていたことから、会員メーリングリストで議論が広がり、会として『**短時間勤務の保育士の活躍促進**』への意見表明」をまとめ、メール配信にてメディア等に発表。厚生労働大臣、厚生労働省保育課にも届けた。

1月28日(木) 代表が厚生労働省の子どもの預かりサービスの在り方に関する専門委員会に出席。ベビーシッターのマッチングサイトのあり方などについて話し合われる。

3月7日(日)「ゆったりーの」との共催で「**はじめての保育園 @ 新宿**」をオンラインで開催。

3月21日(日) オンラインでスタッフミーティング。

3月30日(火)「年報 2021」(B5・4ページ)を発行。

4月23日(金) Google フォームにて、**会員アンケート**を実施。コロナの保育利用への影響、園での有料の習い事、不適切保育について聞いた。結果は、6月14日にホームページで公表(第1回)。

6月24日(木)「100 都市保育力充実度チェック」2021年度版のための調査票を発送。

8月1日(日) イベント「**ロングラン会社員ママ**」をオンラインで開催。スピーカー3人、参加者15人。

9月1日(水) 代表・普光院「後悔しない保育園・こども園の選び方」を出版(一部に保育園を考える親の会のコンテンツも収録)。

9月3日(金) Miraco(みらい子育て全国ネットワーク)の「子育て政策について」Twitter アンケートに協力。

9月16日(木)「**with コロナの保育について**」アンケートを会員メーリングリストおよびSNSで実施。結果を10月21日ホームページに公表し、メディアや関係各所に配信。

9月26日(日)「**はじめての保育園 in 横浜**」を男女共同参画センター横浜北との共催によりオンラインで開催。一般参加者59デバイス、運営側13デバイス。

10月3日(日) ひとなる書房主催・保育園を考える親の会協力で代表新刊「後悔しない保育園・こども園の選び方」出版記念イベントをオンラインで開催。

10月4日(月)「**100 都市保育力充実度チェック**」2021年度版を発行。厚生労働記者クラブにて発表記者会見。終了後、厚生労働省保育課を訪問し懇談。

10月14日(木)「エデュカーレ」との共同で保護者アンケート「こんな風に伝えてほしい」を実施。会員メーリングリストとSNSで配布。結果はエデュカーレと共有。

11月3日(祝)「**はじめての保育園 in 杉並**」を井草地域区民センター協議会との共催で井草地域区民センターにおいて対面開催。一般参加は5世帯7人。終了後、スタッフの会食があり、保育園を考える親の会の運営体制について話し合う。

12月2日（木）会員メーリングリストで「事務局だより」を発信。

12月7日（火）スタッフミーティングをオンラインで開催。代表交替とその後の運営体制について検討する。

12月27日（月）来年度の全国私立保育連盟機関紙「保育通信」の連載（ことば）の執筆者を募集し、確定する。

この間、会員メーリングリストの発信数は149通。特にコロナについてのやりとりは多数に上りました。また、代表・副代表・事務局は自治体の委員会等の委員として活動。研修講師等も務めました。

相談対応のご報告

保育園を考える親の会では、ホームページや電話などで、保育園やこども園に関する相談を受け付けています。ボランティアのアドバイザーが、働く親および子どもの支援活動として行っています。

2021年中の相談件数などは次のとおりでした。

■年間相談件数 45件

（ホームページ・フォーム37件、電話6件、メール1件、手紙1件）

■相談内容（重複カウント有り）

ケガへの対応 2件
戸外遊び・散歩等 1件
食事等 2件
発達の個性に応じない保育 3件
不適切保育 8件
子ども同士のトラブル 2件
行事の実施方法・内容 1件
保育士の対応・誠意 4件
施設長・経営者・幹部の対応・誠意 16件
保育料に関するトラブル 1件
実費徴収など別途の負担について 3件
別料金を徴収する保育について 1件
退園の強要・暗示 5件
保育士の大量退職 4件
運営が不正もしくは不適切・不透明 3件
閉園・分割などの重大変更 2件
自治体の入園事務 5件

育休退園 1件
民営化 4件
保育制度への意見 2件
コロナ対応 3件
入園・転園の園選び 2件
その他 4件

★最も多いのは、「施設長・経営者・幹部の対応・誠意」であり、ほとんどは施設長に関するものである。意見が相違する保護者に「退園の強要・暗示」をしたケースや、「発達の個性に応じない保育」をしている園で施設長が心ない対応をしたケースも含まれる。

「不適切保育」は人権問題であり早急に対応が必要と考えられるが、相談者とのやりとりが途絶えるケースもあった。

「自治体の入園事務」は入園選考が適正だったかどうか、職員の対応への疑問などが相談された。

■施設の種類

公立保育所 2件
私立保育所 20件
幼保連携型認定こども園 1件
類型不明の認定こども園 2件
私立幼稚園 2件

企業主導型保育 1件
認証保育所 1件
助成を受けない認可外保育施設 1件
詳細不明の認可外保育施設 1件
学童保育・放課後児童クラブ 1件
不明 3件

施設に関する相談は以上35件で、このほか自治体・行政に関するものが9件、その他が1件であった。

■相談者の地域

東京都 9件
神奈川県 7件
埼玉県 5件
兵庫県 2件
福島県 2件
宮城県、群馬県、宮崎県、栃木県、千葉県、京都府、大阪府、長崎県 各1件
不明 12件

■相談時期

1月 1件	2月 7件
3月 7件	4月 2件
5月 4件	6月 1件
7月 3件	8月 4件
9月 1件	10月 3件
11月 6件	12月 6件

カンパのお願い

今後の活動を応援してくださる方は、ぜひカンパをお願いします。カンパは同封の払込票をご利用いただくか、ネットバンキングで下記までご入金ください。

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019 ■預金種目 当座
■店名 〇一九 店（ゼロイチキョウ店） ■口座番号 0571820 ■名義 ホイクエンヲカンガエルオヤノカイ